

在宅看護学概論	2年・前期	1単位	講師 片桐 貴子
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310852

### 1. 授業のねらい・概要

本科目は、在宅看護を取り巻く社会的背景や基盤となる概念および在宅看護の特徴を学ぶ。また在宅療養者や家族の特徴を理解すると共に生活を中心においた看護について学ぶ。さらに地域包括ケアシステムにおける多職種連携、社会資源の活用、その中で看護が果たす役割について学ぶ。

### 2. 到達目標

1. 在宅看護の特徴と看護職の役割について理解する。
2. 在宅看護の社会的背景、基盤となる概念、個人の価値観の変容をデータから読み取ることができる。
3. 療養の場の移行に伴う多職種連携で行う退院支援について理解する。
4. 在宅看護と施設内看護の相違と特徴がわかる。
5. 介護保険制度や訪問看護制度の仕組みと役割がわかる。
6. 療養生活を支える社会資源とその活用方法を理解する。
7. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割について理解する。
8. 今後の在宅看護の在り方について課題を見出すことができる

### 3. 授業の進め方

講義を中心に行う。またイメージ化を図るために視聴覚教材を用いた授業を取り入れる。  
また教員としての訪問看護実習指導場面や介護認定審査会の実務経験談等を交えながら講義を進める。

### 4. 授業計画（講義）

1. 在宅看護のイメージと概念、在宅看護の特徴
2. 在宅看護の社会的背景と価値観の変容
3. 療養の場への移行に伴う多職種連携で行う退院支援
4. 在宅看護と施設内看護の相違と特徴
5. 訪問看護制度、介護保険制度の概要と主なサービス
6. 療養生活を支える社会資源の活用と看護職の役割
7. 地域包括ケアシステムにおける多職種・他機関連携
8. 在宅看護の今後の動向と課題 試験

### 5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70%，課題レポート 30%で総合的に評価する。

### 6. テキスト・参考文献

テキスト：1) 臺有桂・石田千絵・山下瑠理子:ナースング・グラフィカ 在宅看護論①地域療養を支える  
ケア メディカ出版

その他参考文献は、授業中に適宜紹介する。

### 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

授業内容について1時間以上の予習および復習を行うこと。

### 8. 受講上の留意事項

遠隔授業：リアルタイム型の場合は、時間割の時刻に授業を受けられる体勢を取ること。

オンデマンド型の場合は、1回分の内容を最後まで見ること。

対面授業：遅刻、欠席ならびに授業中の私語、授業に関係ない言動は慎むこと。

### 9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に解答等を説明する。

### 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。在宅看護学実習の先修科目である。

### 11. 実務経験のある教員等による授業科目

看護大学における在宅看護学担当者としての講義と実習指導の実務経験、また介護認定審査会審査委員、総合病院における看護師としての実務経験を活かして講義を行う。